

2024年9月12日

報道関係者各位

一般社団法人 唐津観光協会

佐賀県唐津市呼子、一度絶えた伝統文化「呼子くんち」継承へ 300万円を目標にクラウドファンディングに挑戦中 ～『復興』から『伝統の継承』へ。伝統を未来に繋げていきたい。～

イベント URL : <https://readyfor.jp/projects/yobuko-kunchi2024>

クラウドファンディングサービス「READYFOR」にて、2022年に1300万円以上のご支援を集めて復活した祭り「呼子くんち」。呼子くんち実行委員会は、今回3回目の開催実現と、将来に向けた継承のためにクラウドファンディングプロジェクト「【呼子くんち】を未来へつなげたい！『復興』から『伝統の継承』へ」を公開しました。300万円を目標に、2024年9月30日（月）まで支援を募ります。

#佐賀県 #地域 #地域文化 #観光 #まちづくり #歴史 #イベント

【呼子くんち】を未来へつなげたい！『復興』から『伝統の継承』へ



松尾 信 (呼子くんち実行委員会)



支援総額

0円

目標金額 3,000,000円

支援者 種別
0人 52日

最初の支援者になりませんか？

プロジェクトの支援にすすむ

<https://readyfor.jp/projects/...>

コピー

専用URLを使うと、あなたのシェアによってこのプロジェクトに何人訪れているかを確認できます



Facebook



X



LINE



note

本佐賀県唐津市呼子は江戸時代には捕鯨で栄え、現在はイカ漁が盛んな港町として知られています。呼子くんち実行委員会は、祭りを通して郷土呼子の歴史と伝統を未来へとつなぎ、地域を発展させることを目指しています。おかげさまで2022年には多くの皆様の御支援をいただき、久しく開かれていなかった山車を曳くお祭りを地域の昔話「親子鯨の弁天さん参り」になぞらえて「呼子くんち」（九州地方では秋祭りを「おくんち」と呼びます）として新しい形で復活・開催することができました。

鯨の山車の奉納は、唐津出身の進藤幸彦さんが2016年に発案しました。進藤さんは祭りの実現に向けて奔走されていましたが、翌年に思い半ばで病に倒れました。しかしその強いご遺志はご子息の進藤さわとさんに引き継がれ、実現の運びとなったものです。2022年、暗中模索の中にも多くの皆様の御支援をいただき、実現した「呼子くんち」ですが、昨年を経て今年で3回目の開催になります。

地域の歴史から生まれた新しい「呼子くんち」を未来に繋ぐことが、世代を超えた交流に繋がり、地域の誇りとなり、未来の新しい文化の礎となることでしょう。しかし、継続・発展のためには資金も必要となってまいります。祭りを継続・発展させるための資金に皆様の御支援をお願いいたします。

■クラウドファンディングプロジェクト概要

- ・タイトル「【呼子くんち】を未来へつなげたい！『復興』から『伝統の継承』へ」
- ・URL：<https://readyfor.jp/projects/yobuko-kunchi2024>
- ・目標金額：300万円
- ・募集期間：2024年8月9日(金)～9月30日(月)23時
- ・資金使途：2024年呼子くんち実施運営費、打ち上げ花火費
- ・形式：通常型 / All or Nothing 形式
※All or Nothing 形式は、期間内に集まった支援総額が目標金額に到達した場合にのみ、実行者が支援金を受け取れる仕組みです。
- ・リターン：地域の事業者の方々に協力いただき返礼品を設定

■本件に関する問い合わせ先

問合せ：呼子くんち実行委員会

TEL：090-1971-6035（田川）

email：gao6035@gmail.com

プレスリリース
に関する
お問い合わせ

一般社団法人 唐津観光協会 担当：田久保
〒847-0816 佐賀県唐津市新興町 2935-1
TEL：0955-74-3355 FAX：0955-74-3365
Email：info@karatsu-kankou.jp